Report on the Experiment

No. 18

Subject 直流モータのデューティファクタ制御

Date 2019. 12. 9

Weather 曇り Temp 13.2 °C Wet 59 %

Class E3

Group 2

Chief

Partner 井上 隆治

木下 拓真

重見 達也

DANDAR TUGULDUR

No 15

Name 小畠 一泰

Kure National College of Technology

1 目的

半導体スイッチング・デバイスを用いた直流モータのデューティファクタ制御を行うことで、パワーエレクトロニクスの基礎を学ぶことを目的とする.

2 使用器具

- 1. ブレッド・ブレード
- 2. ディジタルオシロスコープ (RIGOL DS1064B)
- 3. 直流スイッチング電源 (5V: 11-061, 12V: No.4)
- 4. 回転計

3 実験方法と結果の整理

3.1 のこぎり波発生回路

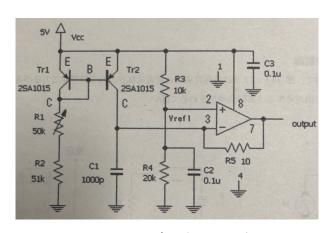


図 1: のこぎり波発生回路

図 1 ののこぎり波発生回路をブレッド・ボードに組み、出力波形をオシロスコープで観測した。図 1 において、output にオシロスコープの CH1 をつなぎ、可変抵抗 R_1 をドライバで調整し、最小、中間、最大としたときの波形から周期を読み取り、計算値と比較検討した。最後は可変抵抗最大とした。

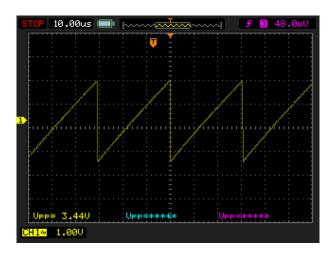


図 2: R1:最小

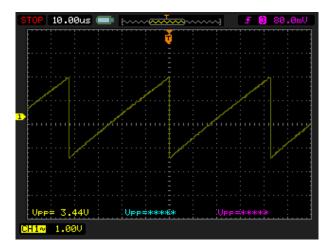


図 3: R1:中間

3.2 オンオフ信号発生回路

図 5 のオンオフ信号発生回路をブレッド・ボードに組み、のこぎり波発生回路の出力を入力として、出力波形をオシロスコープで観測した。オシロスコープの CH1 を input に、CH2 を LM311 の 3 番ピンに、CH3 を output につなぎ可変抵抗 R6 をドライバで調整し V_{ref2} を 0,1,2,3 [V] に変化させたときの波形からデューティ比を読み取った。

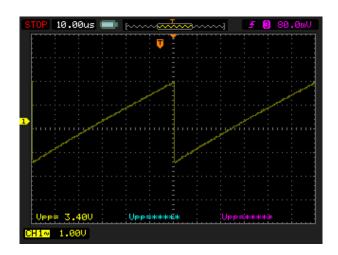


図 4: R1:最大

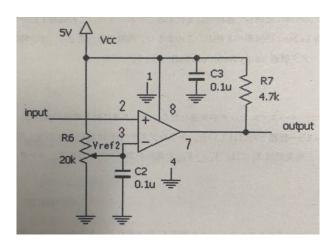
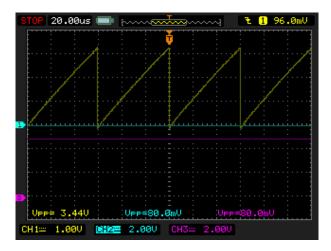


図 5: オンオフ信号発生回路

3.3 絶縁回路とスイッチング回路

図 10 の絶縁回路とスイッチング回路を別のブレッド・ボードに組み、オンオフ信号発生回路の出力を人力とした。オンオフ信号の出力波形をオシロスコープで観測しながら、デューティファクタとモータの回転速度の関係を測定しグラフに描いた。オシロスコープの CH1 を input に、CH2 を PC817C の 1 番ピンにつなぎ波形の画像を USB にとった.



 \boxtimes 6: $V_{ref2} = 0$ [V]

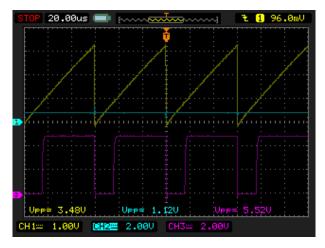
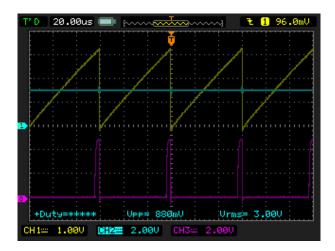


図 7: $V_{ref2} = 1$ [V]



図 8: $V_{ref2} = 2$ [V]



 \boxtimes 9: $V_{ref2} = 3$ [V]

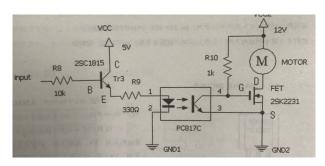


図 10: スイッチング回路

4 考察

1. のこぎり波発生回路の周期 T の式を導出せよ.

$$V_{c}(t) = \frac{1}{C_{1}} \int_{0}^{t} I_{C2} dt$$

$$= \frac{1}{C_{1}} I_{C2} t$$

$$= \frac{1}{C_{1}} \frac{V_{CC} - V_{BE}}{R_{1} + R_{2}} t \quad (\because I_{C1} = I_{C2})$$

$$V_{c}(T) = \frac{R_{4}}{R_{3} + R_{4}} V_{CC}$$

$$T = C_{1}(R_{1} + R_{2}) \frac{\frac{R_{4}}{R_{3} + R_{4}} V_{CC}}{V_{CC} - V_{BE}}$$

2. 絶縁回路では、input が H のとき LED が発光し、フォトトランジスタは ON となる. フォトトランジスタが ON のとき、ゲート電圧 VGS = 0 であるから FET は OFF となりモータには電流が流れない. input が L のとき LED は消灯、フォトトランジスタは OFF となる. フォトトランジスタが OFF のとき、ゲート電圧 VGS = H であるから FET は ON となりモータに電流が流れる. この関係をinput のパルスを基準に、タイムチャートを描いて説明せよ.

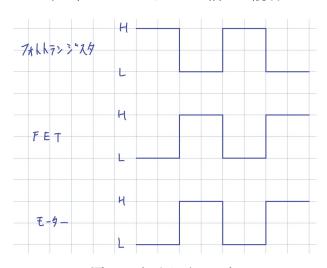


図 11: タイムチャート

フォトトランジスタが L になると FET により短絡され、モータに電流が流れる.

5 参考文献

- 1. 江間敏、高橋勲:パワーエレクトロニクス pp.130-133 コロナ社
- 2. 瀬川毅: 絵解き 電子回路入門 トランジスタ技術 4 月号 pp.71-72